

入力者氏名	教員所属	科目名	アンケートに対するコメント
平辰彦	基礎教養	英語Ⅰ	この科目のアンケートの数字上の結果は、大部分の設問について全学平均とほぼ等しい評価となっています。この授業は対面を含むオンラインの授業で行なわれましたが、オンラインの授業中の際に黒板の文字が見えない時があったとの自由記述がありました。対面授業と同時進行でオンライン授業を実施しているため、黒板の使用には、今後、気をつけていきたいと思います。授業の内容については、わかりやすく、英語の基礎的な文法や読解のやりかた方を解説することを心がけ、学生と教員が双方向的な授業になるように、毎回、授業について短いコメントを書かせ、評価し、次回の授業にフィードバックしています。
平辰彦	基礎教養	英語Ⅰ	月曜4限目におこなわれるこの科目のアンケートの数字上の結果は、大部分の設問について全学平均とほぼ等しい評価となっています。この授業は対面を含むオンラインの授業で行なわれましたが、オンラインの授業中の際の黒板の利用法についての自由記述がありました。対面授業と同時進行でオンライン授業を実施しているため、黒板の使用には、今後、気をつけていきたいと思います。また自由記述では「わかりやすく、教えてくれ、英語が苦手なわたしですが、頑張ろうと思いました。」「授業内容が良かった。」「基本をしっかりとかバーできた。」などの感想もありました。今後も授業の内容については、わかりやすく、英語の基礎的な文法や読解のやりかた方などを詳しく解説するように心がけ、学生と教員が双方向的な授業になるように、毎回、授業について短いコメントを書かせ、評価し、次回の授業にフィードバックするようにしていきたいと思います。
平辰彦	基礎教養	英語Ⅲ	月曜5限のこの科目のアンケートの数字上の結果は、大部分の設問について全学平均とほぼ等しい評価となっています。この授業は対面を含むオンラインの授業で行なわれました。自由記述には次のような感想がありました「基礎的な英語を勉強するのにとてもいいと思いました。」「むずかしそうな部分は必ず説明をおこなってくれるので、とてもわかりやすかったです。」「英語について深く知ることができました。」授業の内容については今後も、わかりやすく、英語の基礎的な文法や読解のやりかた方をていねいに解説するように心がけ、学生と教員が双方向的な授業になるように、毎回、授業について短いコメントを書かせ、評価し、次回の授業にフィードバックしていきたいと思っています。
浅岡 章一	人間心理	基礎ゼミナール	問5、6という授業外での予習復習に関する項目の得点が、平均と比較しても特に低くなっていました。明確に予習・復習として行うべきことを明確にシラバスに記載するなどして、授業外でも授業内容に関連する学習を進めていけるよう工夫したいと思っています。オンラインでの授業となりましたが、評価方法の説明や、質問しやすい状況づくりなどに大きな問題がなかったようで安心しました。
浅岡 章一	人間心理	神経・生理心理学	多くの項目で平均と同等、あるいはそれを上回る評価を頂きました。また、興味を持たれたとのコメントも多数いただき、うれしく思います。しかしながら、専門知識や用語の説明の解りやすさという点では、多少の問題があったのかとアンケート結果を見て感じております。生理学的な内容を含むので専門用語がどうしても多くなるのは避けられないため、今後はより丁寧な説明と、質問しやすい環境づくりに努めたいと思います。
福田 一彦	人間心理	基礎ゼミナール(福田クラス)	基礎ゼミナールは1年次の必修の少人数クラスでのゼミナールで、今後4年間の人間心理学科で必要とされるスキルの基礎を学習するための授業である。新入生には、この授業の位置づけがなかなか理解しにくいかもしれないし、必修なので、自ら選んだ科目でもないし、また、担当教員もランダムに決定されるので、どちらかと言うと受け身な授業受講態度かもしれない。しかしながら、今年度の学生さんたちは非常によく取り組んでくれたと思う。全学の平均よりも評点が低かった項目は「5. 予習・復習や授業に関連する取り組みを行った」「6. 予習や復習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか」「7. 成績の評価基準を理解している」「8. 自分はこの授業を評価する資格がある」の4つだが、5, 6, 8については、受け身的な態度が現れている結果かもしれない。7. については、明確な基準を提示するのは難しいが、この基礎ゼミナールへは通常の場合、ほとんど皆勤賞であることが多く、そうでない場合は稀であり、休みが多い場合は、たいていの場合、大学生生活自体が続かない場合が多い。評価基準については、今後、学科内でも共通認識を持てるようにする議論も必要かもしれない。自由記述については、以下のとおりであった。「福田先生の解説や授業資料はとても分かりやすく、従業に取り組みやすかった。」「授業外のことなど、少人数だからこそ質問しやすくてとても助かりました。ありがとうございました。後期もよろしく願いいたします。」

福田 一彦	人間心理	睡眠の生理心理学Ⅰ	<p>この授業の評価で平均よりも低かったのは、「4. 授業に参加した際は、積極的にノートをとる、質問に答えるなどした」「5. 教科書や配布資料を読むなど、予習・復習や授業に関連する取り組みを行った」「6. この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか」「17. 学生の私語を注意するなど、スムーズな授業の運営に努めていた」であるが、5と6については、授業への評価というよりも、自分自身の学習態度への「反省の辞」のように思われる。17については、オンデマンド型（動画配信型）の授業であったので、そもそも、「私語を注意する」というのが該当しないので、評価が低いというよりも当てはまらないという事であると思われる。自由記述の内容を以下に記す。「福田先生の授業は簡潔明瞭で、さらに理にかなった授業の仕方をされていると感じます。どの授業より集中して取り組みますので、今後も福田先生の授業を取っていきたいと思います。」「日常に役立つ情報の事を学べたために、睡眠の改善にも役立っている事が出来た。授業の中でも最も日常に役立っていると思う（ママ）。」「睡眠の事も知れたし、なにより、「チコちゃんに叱られる」に出演した先生に教わる事ができて良かったです。出演した時の放送見ました。」「睡眠に対して興味を持つことが出来ました。後期は睡眠の生理心理学Ⅱを受講する予定なのでよろしくお祈りします。」「睡眠というものについてより知識が深まった気がします。自分の生活にも釣り入れて（ママ）いけるようなアドバイスを授業で紹介してくださって、とてもいい授業（ママ）だと思いました。」「初めは難しい授業でついていけるか不安しかありませんでした。ですが習っていくうちに興味が湧いてきて今ではもっと知りたいと思うほどです。4年間大学の授業を受けてきましたがこの授業が一番楽しかったです。ありがとうございました。」「授業内容と小テストがしっかりリンクしていたので取り組みやすかった。」「授業を通して多くの知識を得ることができました。」「授業していただきありがとうございます。」「質の良い睡眠をとるためにはどうしたらよいかなど、日常生活で役に立つことを聞いて良かったです。」「雑談を絡めたわかりやすくなる授業だと思いました。」「とても分かりやすかった。」「テストがんばりたいと思います。」「ありがとうございました。」</p>
福田 一彦	人間心理	精神生理学	<p>精神生理学は実際に電気生理学的な指標（自律神経系指標や脳波など）を記録し、実習を通して精神生理学（Psychophysiology）を学ぶという科目である。昨年度（2020年度）は新型コロナウイルス感染症の流行により、3密のうちの2つ（密接・密閉）を満たしてしまう授業とならざるを得ないため、開講せずという扱いとなった。今年度（2021年度）も新型コロナウイルス感染症の流行は治まらず、特に、この集中講義の実施期間である夏期には、デルタ株の流入により大規模な流行状態となった。しかし、教務部長などからの要請によって、今年度はなんらかの形で開講してほしいという意向が伝えられたために、感染予防と両立して実施するために、本来は実習中心の授業内容を、完全オンデマンドで開講するという、変則的な形での開講となった。このため、受講を希望する学生に対しては、新型コロナウイルス感染症の流行が継続する可能性を考えて、実習形式の授業を実施することが出来ないことを説明し、それを理解した上で受講するようにという注意をシラバス上などで行った。実際に夏期に入り、大流行状態となったため、完全オンデマンドで実施するという決定をしたことは大いに意味があった。全学平均よりも低い評価は、「8. この授業に対する自分の取り組みから考えて、自分はこの授業を評価する資格がある」「15. 授業開始・終了の時間は守られていた」「17. 学生の私語を注意するなど、スムーズな授業の運営に努めていた」である。8は、授業の評価というよりも自分自身の授業への取り組み方の反省について述べていると思われる。15と17は評価が低いというよりも、本来、完全オンデマンド型の授業には当てはまらない質問項目であるため、このような数字となったと考えられる。</p>
福田 一彦	人間心理	外国書講読	<p>全学平均よりも低いのは、「10. 授業を通して多くの知識を得る事ができた」であるが、多くの知識を提示していたのですが、これはそれを吸収できなかったということだろうか。この授業は評価基準がたぶん学生側から見るとかなり厳しい部類に入ると思うが、それだけに、この授業を履修した学生は基本的にはかなり熱心な学生である。この授業の場合は、全学平均よりも高い評価項目が散見される。「9. 授業内容は分かりやすいものだった」「11. 授業は何を目的としているのかが、明確に理解できた」「16. 話し方は明確だった」「18. 教員の授業に対する熱意を感じた」などが全学平均よりも高い結果だった。この授業へは学生もかなり積極的に取り組んでいる感じも伝わってくるので、教員としてもやる気を感じる授業である。</p>

尾花真梨子	人間心理	基礎ゼミナール	アンケートへの回答をありがとうございます。この科目は、大学で心理学を学ぶために必要な学習態度を身につけることや資料の読み方、要約の仕方を獲得することを目的とした、少人数制のゼミナールです。今年度もオンラインが中心となりましたが、全体の平均値が4.9と非常に高い評価となりました。また、自由記述では、「資料が見やすかった」「一人ひとりに丁寧に接してくれたことが優しいな思った」「この授業のおかげで友達も作れた」「入学してわからないことだらけだったが、不安が減った」などのコメントをいただきました。その一方で、「6.予習・復習などにかかる時間」は低い値となりました。科目の性質上、予習を行うことは難しいこともあるかもしれませんが、学習した内容がその後の皆さんの大学生活と関連することが多いので、ぜひ積極的に振り返りをしてください。また、そのような授業運営を心がけるとともに、そのための工夫をしていきたいと思います。
尾花真梨子	人間心理	児童心理学	アンケートへの回答をありがとうございます。この科目は、人間の生涯発達過程における子どもの心身の発達と適応問題に焦点を当て、子どもの発達に対する多面的な理解とさまざまな支援方法について理解することを目的としています。130名前後の履修者がいるため、今年度はオンデマンド型授業としましたが、全体の平均値が4.5であったことから、概ね満足度が高かったものと思われます。また、自由記述でも、「要点を抑えていてわかりやすい授業だった」「資料が見やすく、取り組みやすかった」「リアクションペーパーで自分のこれまでのことを振り返る機会になった」「公認心理師受験資格取得のための科目ではないが、さまざまなことを学べたので履修してよかった」などのコメントをいただきました。ただし、「5.予習・復習、授業に関連する取り組み」や「6.予習・復習などにかかる時間」は低い値となっていました。この点については、資料配信のタイミングや十分な学習時間の確保につながる課題提示の仕方など、今後も検討・工夫していきたいと思います。
山本隆一郎	人間心理	基礎ゼミナール	本授業は1年生対象のゼミナールである。毎年度この授業評価に関しては、学生さんの相互作用（クラスの雰囲気がよければよい、悪ければ悪い）に評価が依存している科目である。今年度も昨年度に引き続きCOVID-19流行下でオンラインによる授業であり、1年生最初の科目であったことからなかなか相互作用が生まれにくい中での授業であった。全員でコミュニケーションをとることが難しかったため、受講学生さんは不安があったかと思うが、皆が主体的に授業に参加し、人間心理学科での学びの基礎をしっかりと身につけようとコミットメント高く参加してくれたと思う。昨年同様、担当教員としても、全てのゼミ生にとって心理的な負荷が低いような授業運営かつ学生生活での困りごとを共有できるような関わりのあり方を模索して工夫をしたつもりだが、各学生がそうした意図をしっかりと組みよい関係性の中で有意義な授業となったと感じている。その結果、総合的な評価は4.6点であり、高い評価を頂いたと考えている。繰り返しになるが、この評価は、私自身の授業運営ではなく、未曾有の状況下の中で、学びの気持ちを絶やさず、主体的に参加してくれた一人一人が授業を満足度の高いものにしてくれたと考えている。今後も大変な状況下が続くと思うが、身を引き締めていきたいと考える。
山本隆一郎	人間心理	健康・医療心理学	この科目は、公認心理師科目であり、3年時配当の2群科目である。昨年に引き続き、COVID-19流行下での授業であり、完全オンデマンドによる授業を実施した。学生との双方向性の確保として、毎回の授業終了後課題で質問を収集して、そのQ&Aを作成するなど、学生からも簡易かつ他の学生の質問を知ることができるなど、オンデマンドであることを活かした授業運営を意識した。学生さんの全体的な評価としては、概ね昨年までと同様に高い評価（4.6）であり、自由記述でも、授業資料や伝え方の分かりやすさに関する好評を頂いた。自由記述においても、わかりやすさ（内容が易しいということではなく、難しい内容をかみ砕いて説明されている）や授業内容の中でも災害支援について考えさせられたという意見などが寄せられた。毎年書いているコメントではあるが、この授業で学んだ健康行動やそのサポートの仕方に納得ができたのであれば、まずは自分や身近な人々に応用できて初めてこの授業の意味がある。面白いテーマだったということだけではなく、主体的に学んだ学問を過去のものとせず、現在そして今後の生活に生かしてほしいと考える。
大塚 良治	現代社会	基礎ゼミナール	「パワーポイント」を授業で扱うのは良いと思いますが、少しはパワーポイントの操作の方法を教えてもらいたかったですとのコメントがありましたが、確かに1年生はマイクロソフトオフィスのアプリケーションソフトの使い方に慣れていないことも多々あることを認識し、今後はマイクロソフトオフィスのアプリケーションソフトの操作方法を手順を確認しながら修得してもらうようにしたいと思います。

大塚 良治	現代社会	観光まちづくり論	「スライドごとに音声の大きさが変わるのは困るので改善してもらいたいです」とのコメントがありましたが、空き時間を見つけてその時々場所でスライド1枚ずつ録音しているため、どうしても音声の収録状況が1枚ずつ異なってしまいます。多忙な時間の中で、なんとか時間を見つけて録音作業しているため、ご指摘の内容を改善することは困難です。当方のオンデマンド授業を受講する際には、この状況をご了解の上で履修していただくようお願いいたします。
杉山敏啓	経営社会	基礎ゼミナール	この科目は新入生を対象に、本学に慣れて頂くとともに、これから経営・社会分野について学ぶにあたって、学習を通じて社会適用能力を身に付けることの意義を、テキスト輪読・ディスカッション・講師体験談などを通じて遂行いたしました。PPTを用いた最終プレゼンテーションは、各自の興味がある分野を深堀することができ、全体的な成果をもたらす上で有意義であったものと認識いたしました。プレゼンテーションのためのテーマ選定について議論をするような準備時間を増やすことで、予習・復習を促すことが、更なる改善に向けた一考であると考えました。
杉山敏啓	経営社会	金融ビジネス基礎Ⅰ／金融基礎Ⅰ	この科目は金融分野の初学者を主たる対象に、金融機関、金融商品、金融システム等の用語・仕組みについて講義形式で学習する科目です。2021年度前期はオンデマンド講義方式を主体として、講義前の双方向コミュニケーション時間を併用しながら遂行しました。受講者の受講姿勢確認および理解促進の目的で、全回エドクラテス試験を行いました。全回テスト実施により、理解促進を図ることが出来ました。他方、予習インセンティブの付け方には工夫の余地があると認識致しました。
杉山敏啓	経営社会	コーポレートファイナンスⅠ	この科目は金融・経営分野の専門科目にふさわしい内容と難易度を持つ科目として、企業の財務諸表データに基づく企業価値評価を重点的に学習しました。2021年度上期はオンデマンド講義方式を主体として、講義前の双方向コミュニケーション時間を併用しながら遂行するとともに、オンライン方式によるリアルタイム演習を行いました。受講者の受講姿勢確認および理解促進の目的で、全回エドクラテス試験を行いました。全回テスト実施により、過年度の対面方式講義よりも理解促進を図ることが出来ました。他方、予習インセンティブの付け方には工夫の余地があると認識致しました。
吉田 一康	経営社会	企業と法Ⅰ	Google Meetを使用した遠隔授業による講義で、評価平均が4.4でしたが、設問7「成績評価基準を理解している」が4.1と低かったことから、初回のシラバスの説明時だけでなく、その後の授業中でも何度か説明する必要があると思いました。設問9「授業内容は分かりやすいものだった」が4.3、設問13「板書や機器を使った表示文字は見やすかった」も4.3と相対的に低い評価でしたので、PowerPointの内容や文字について、今後、改善していきます。設問5「教科書や配布資料を読むなど、予習・復習や授業に関連する取組をおこなった」が4.1で、設問6「この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習はどの程度時間をかけましたか」の評価が2.8だった点については、毎回、低いことから、次週の課題などを与えなければならないと考えています。受講者に関しては、Google Meetへの遅刻の入室者がややみられましたが、皆、カメラやマイクをオフにして、講義の運営にとっても協力的でした。御礼申し上げます。
浅川陽子	こどもコミュニケーション	言葉	出席率・満足度が高く、学生が熱心に取り組んでくれたことがよくわかる評価結果でした。自由記述では「保育事例を読んで考えることが多く、観察力や思考力がついた」と複数あり、役立つ授業を心掛けた成果だと思えます。ただ、予習復習の時間が思ったより少ないことがわかったので、今後改善に努めます。
浅川陽子	こどもコミュニケーション	生活	出席率、わかりやすさなど満足度は高く、毎年の授業工夫の成果だと思えます。自由記述には「質問の時間があってリアルに考えることができた」など、双方向性の良さを指摘する声がありました。しかし思ったより予習復習の時間が少ないことがわかったので、今後の改善に努めます。

旭 彩希	こどもコミュニケーション	乳児保育Ⅰ	この科目はフルオンライン型リアルタイムで実施しました。講義中心ではありますが事例や統計を見てグループで討議するなどの機会を多く取り入れたり、乳児の生活や遊び、発達の様子が捉えられるように映像資料なども多く活用しました。それらの方法は授業理解に役立ったようで、「教材・資料等の利用は授業の理解に役立った」という評価平均は4.4、「授業内容はわかりやすいものだった」は評価平均4.3でした。そのほかの項目についても全学平均と同様でありましたが、授業の予習復習にかかる時間が著しく低く(2.9)、見直す必要があると分かりました。予習復習をすることの意味づけ、動機づけを授業のはじめにしっかりと行うこと、予習復習内容の明確な伝達、取り組みに対する評価を明確にするなどの改善に努めたいと思います。
旭 彩希	こどもコミュニケーション	乳児保育Ⅰ (前期集中)	この科目はフルオンライン型リアルタイムで実施しました。講義中心ではありますが事例や統計を見てグループで討議するなどの機会を多く取り入れたり、乳児の生活や遊び、発達の様子が捉えられるように映像資料なども多く活用しました。それらの方法は授業理解に役立ったようで、「教材・資料等の利用は授業の理解に役立った」という評価平均は4.5、「授業内容はわかりやすいものだった」は評価平均4.6でした。そのほかの項目についても全学平均と同様でありましたが、授業の予習復習にかかる時間が著しく低く(2.9)、見直す必要があると分かりました。5日間の連続した集中講義であったため、実際学生にとって予習復習をこなす時間がなかったことが主な原因であると考えられますが、集中講義の時間割の組み方も考慮しながら、学生が予習復習に取り組みやすいような、意欲をもって取り組めるような方法と内容を検討したいと思います。
旭 彩希	こどもコミュニケーション	保育内容総論	この科目はオンライン型(リアルタイム)と対面型授業を授業内容に応じて変更しながら実施しました。講義中心ではありますが事例についてグループで討議する、オンラインでできる身近な物を使った製作あそびなどの機会を取り入れ、遊びの見方や子どもの育ち、保育の計画についてなどが理解できるように映像資料なども多く活用しました。それらの方法は授業理解に役立ったようで、「多くの知識を得ることができた」は評価平均が4.9、「教材・資料等の利用は授業の理解に役立った」は4.6、「授業内容はわかりやすいものだった」は4.6でした。そのほかの項目についても全学平均と同様でありましたが、授業の予習復習にかかる時間が著しく低く(2.9)、見直す必要があると分かりました。また、「シラバスをよく読んだ」は3.9と全学平均よりも低い評価でありました。したがって、授業初めに、シラバスを活用しながら授業で目指すところや予習復習の意味をしっかりと伝え、授業に取り組む意欲、動機づけをしていきたいと思いました。